

会長あいさつ

●水泳の歴史は横浜から

横浜における水泳競技の歴史は、日本の水泳史と言ってよいほどの古い歴史を持っています。文献によれば、明治31年に横浜外人クラブと水府流太田派とで国際競泳大会を開き、「日本の競泳発祥の地」として歴史を飾ったことが記されています。

●昭和2年創立、平成28年に90周年の慶節

横浜を中心に集まった水泳愛好者が発起人となり、昭和2年11月に横浜水泳協会が結成されました。その後、この横浜からは著名な選手が数多く輩出し、輝かしい活躍の歴史が残されています。

時代に翻弄されながらも、先人の知恵と努力により普及、発展と組織の振興に取り組み、平成28年には創立90周年の慶節を迎えます。施設面では平成10年、横浜に国際級大会の開催できるプールが完成し、各種大会が開催されるなど横浜の水泳の拠点となっています。

●今後も横浜市民の健康に貢献

平成24年4月には、一般社団法人と組織を改変し、横浜市内の水泳界を代表する団体として、水泳及び水泳競技(競泳、飛込、水球、シンクロナイズドスイミング、日本泳法及びオープンウォーター・スイミング)の健全な普及発展を図り、横浜市民の心身の健全な発展に寄与することを目的として活動しています。

一般社団法人
横浜水泳協会会長

國 富 進

横浜水泳協会の組織

横浜水泳協会では、定款に定めた事業を遂行するため、業務を分担して以下の6つの委員会を設けています。

●各委員会の名称と役割分担

総務委員会 会員への各種連絡や会全体の統括事業を担当します。関係団体への連絡・調整・報告等のほか、各種表彰者の選定も行います。

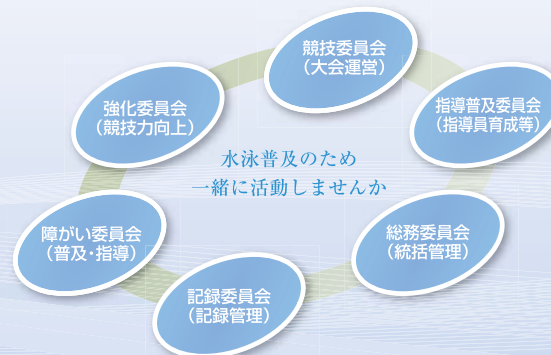
競技委員会 協会主催・主管の各競技大会の企画・検討を行います。実施にあたっては、要項作成・役割分担を決めスムーズな運営を図ります。公認役員の育成にもあたります。

強化委員会 選手の競技力向上のため、強化練習計画を立て実施に努めます。強化コーチの育成。水泳競技力向上に関する研究・対策等も担当します。

記録委員会 協会主催・主管の各種競技の記録管理・保存を担当します。

指導普及委員会 水泳指導員の養成と普及を担当します。競技役員の育成と各種競技大会への運営参画を指導しています。また、各種水泳教室(水面監視)への指導員派遣等も行います。

障がい委員会 障がい者水泳の普及と指導員の養成を担当します。また、障がい者水泳教室の開催や指導員の派遣等を積極的に行っています。



会員募集のご案内

水泳普及のため 一緒に活動しませんか

毎年夏に行われる横浜市民総合体育大会水泳競技大会(延べ1,800人参加)をはじめ、横浜市民マスターズ水泳競技大会など、協会会員が力を合わせて企画・運営にあたっています。大会運営に興味のある方、水泳の運営スタッフに携わって協力したいとお考えの方は是非私たちの仲間(会員)になってください。

大会等では、たくさんの皆さんのお力が必要です。運営には様々な仕事があり、必ず貴方の活躍できるステージがあります。資格の必要なポジションについては、取得の指導も致します。大会中では、お近くの役員にお尋ねください。詳しいことについては、下記の住所までお問い合わせください。

- (1)正 会 員:原則として一口3,000円(年間)
- (2)賛助会員:一口2,000円

お申込み・お問い合わせ先

〒247-0008 横浜市栄区本郷台1-25-13 小清水 方
一般社団法人横浜水泳協会 総務委員長 宛

※入会希望者には振込用紙等をお送りします。

申込方法:所定の申込用紙に記入ください

用紙は協会HPで▶ <http://www.yokohama-swim.or.jp/>

